

# わたしの中の せんそう④

地下 末吉  
(高石市)

大正元年(一九一二年)生まれ

その後一カ月余り私たちは兵事部で合宿、軽装甲車に分乗総督府の警備にあたりました。九月末、武装解除の朝をむかえました。二階の講堂にあがってみると顔を見せたのは、同僚の林曹長、主計の木下中尉、副官の磯部中尉だけでした。軍刀を副官にわたし、市内に出てリュックを求めて兵事部に引返し、木下中尉に米、砂糖、乾パンなどをもたらしてリュックにつめました。

部隊はすでにバラバラになってしまつて、それ以後の身の保障はありません。肩草もとつてしまつては、もう軍人ではなくなつて、これからの行動は、個人で責任をもたなければならぬのです。さいわい、停車場司令部にいる友人を訪ね、その世話で林曹長と、釜山行の列車にのりこむことが出来ました。釜山では内地へ引揚げる人たちが、小学校の講堂いっぱい溢れていました。私たちがすみっこで一夜を

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

## 寄稿 私の戦争体験 (70)

明かし、早朝連絡船を待つ人たちの中にはいりませんでした。二人のなけなしの金を出しあつて、やみ市で買った一五〇円の清酒一本をだいに抱えて。

何時間待った事でしょう、ようやく船室の外の波しぶきをかぶる一隅に席を占めることができました。これでようやく、内地の土がふめるのだ、長い長い時だった。部隊に残つてた連中は、次々と召集解除になつたという報を聞く度に、兵事部勤務の者にも解除の日が来るのだろうかと思つたことでしょうか。

やつとその日をむかえたというのに、これから先、日本のたどる道は、家族や私はどのように生きる道が待っているのでしょうか。四年半という年月の中に、内地がどのような運命にさられたのか、外出の折たまに日遅れの新聞等で見えるほか知る由もなかつた内地にむかう船中は、安どと同時に、不安な気持ちにゆれ動きました。出征直後に生まれた長女は、もう五歳になつています。

船はまばらな松の木が広がる遠浅の浜に錨をおろしました。博多だったか、門司だったか、汽車の便を待つ間、私たちはそこらへんの古板片などを拾い集めて、飯ごうで飯を炊きました。炊きあがつたご飯を食



べる用意をしていると、その近くでやはり汽車を待っていた母子に気が付きました。子どもの目が空腹を訴えているようです。「お腹すいているの」ときくと、うなづきました。小学校の一年生位でしょうか。見れば荷物らしいものもないようです。母と子とどんな思いで引きあげてきたのでしょうか。私たちは思わず目を見合わせ、飯ごうごと開けた牛缶といっしょに、子どもにあげました。私たちは線路ぎわにあつた水道の水をくんで、乾パンで空腹をみたしました。

やがて下関にわたり、溢れる人波にまじつてやつとデッキに腰をおろし、大阪駅頭におり立ちました。駅前には、見るも無惨、くずれたコンクリートの瓦礫の山、たれさがつた電線、立往生の市電、余りの惨状に空爆のすさまじさを、や

つと実感することができました。林曹長と焼野原となつた市中を、声もなく歩いて天王寺に向かい、焼残つた古びた宿の一室にやつと体を横たえ一夜をあかしました。出征中に、家族は妻の郷に引越してしました。小学校を見下す小高い村の墓地の入口には新しく軍人墓地がひらかれ、四十基余の石碑が建てられていました。その中に、かつてこの地で代用職員として教師生活を始めた時に受持つた子どもたち五名の名を刻んだ石碑を見出しました。

戦前とはいへ、私も忠実な国定教科書の伝達人にすぎなかつた罪深さを、改めて自分に問いかけてきました。私は現職のままだった和泉市の学校に復りましたが、二年程経つて再びこの山の学校にかえつて来ました。私の戦後の教師生活は、ここから始まりました。今日、反核、平和を希求する世界の動きが広がる中で、私の中の戦争を風化されてはならじと、舌たらずのペンをとりました。

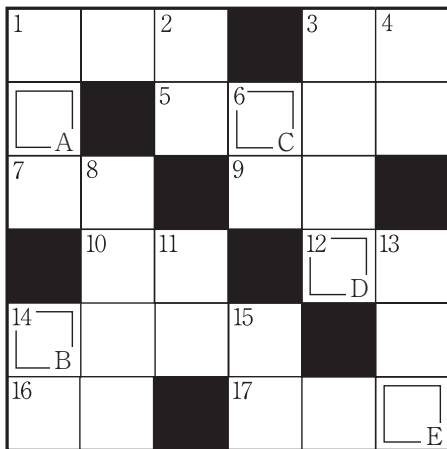
(終わり)

この手記は1982年に執筆されたものです。

## お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-12 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてに郵送か、FAX(072-244-7860)、下の二次元コードで取得できるメール(tomokenkou@mihara.or.jp)に。しめきり/2024年5月8日(水)消印有効 ●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。 ●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?

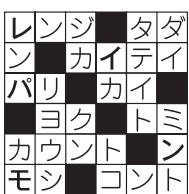


- ①しくじり
- ②汝の—を愛せよ
- ③荷物を運ぶ馬車
- ④むね肉

- ⑥—破れて山河あり
- ⑧好機
- ⑩仕事—探し
- ⑬別府—巡り
- ⑭違法な—献金
- ⑮—登り

### EITのキー

- ①しも手の対
- ③—を追う者兎も得ず
- ⑤心くばり
- ⑦趣味の園芸で—いじり
- ⑨—も東もわからない
- ⑩42歳の—年
- ⑫外野の—がうるさい
- ⑭わがまま勝手な振る舞い。—な子
- ⑯失敗。—なしで高得点
- ⑰只今—のテスト中



●2月号の答え  
レモンパイ  
●応募数/127通  
●正解者数/126人

### 短歌

受付で「マイナ保険証お持ちですか？」  
余計なお世話私は持たず  
若ごぼう香りただよう台所  
今年の春ももうすぐそこに

### 俳句

二上に春の訪れ麻呂子山  
三寒は日なた四温は散歩なる  
三月や鬢付け匂う力士部屋

### 川柳

雑飾る子の平穩をどの地にも  
万博中止「補償額」4/13以降2.3倍

※句を詠む時の情景や思いもお寄せください。  
※俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2024年5月8日(水)です。  
※特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

堀西 和子  
堺谷九条男

深谷 風山  
水野 茂子  
中野 風鈴

小田 順平  
豊内 豊美

「とも」2月号お楽しみクイズの締め切り日に誤りがございました。

(誤) 2月14日(水) ⇒ (正) 3月13日(水)  
2月14日以降に届いたものも全て受付しています。  
ご迷惑おかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

「とも」編集会議

お詫び